CASBEE-建築(新築)2024年版

(仮称)横須賀市夏島町物流施設計画

■使用評価マニュア：CASBEE-建築(新築)2024年版

■評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

スコアシート　　実施設計段階

配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 重み係数	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								**2.7**
Q1 室内環境					**0.31**		-	**2.7**
1 音環境				**3.8**	0.15	-	-	**3.8**
	1.1 室内騒音レベル		―	**3.0**	0.40	-	-	
	1.2 遮音			**5.0**	0.40	-	-	
		1 開口部遮音性能	T-2	5.0	0.60	-	-	
		2 界壁遮音性能	事務室Dr-45	5.0	0.40	-	-	
		3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	―	-	-	-	-	
		4 界床遮音性能(重量衝撃源)	―	-	-	-	-	
	1.3 吸音		―	**3.0**	0.20	-	-	
2 温熱環境				**1.9**	0.35	-	-	**1.9**
	2.1 室温制御			**2.8**	0.50	-	-	
		1 室温	―	2.0	0.38	-	-	
		2 外皮性能	窓SC：0.55、窓U：2.2W/㎡K、外壁U：0.642W/㎡K、屋根U：0.455W/㎡K、床U：4.608W/㎡	4.0	0.25	-	-	
		3 ゾーン別制御性	―	3.0	0.38	-	-	
	2.2 湿度制御		―	**1.0**	0.20	-	-	
	2.3 空調方式		―	1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				**2.6**	0.25	-	-	**2.6**
	3.1 昼光利用			**1.8**	0.30	-	-	
		1 昼光率	―	1.0	0.60	-	-	
		2 方位別開口	―	-	-	-	-	
		3 昼光利用設備	―	3.0	0.40	-	-	
	3.2 グレア対策			**3.0**	0.30	-	-	
		1 昼光制御	―	3.0	1.00	-	-	
	3.3 照度		―	**3.0**	0.15	-	-	
	3.4 照明制御		―	**3.0**	0.25	-	-	
4 空気質環境				**3.2**	0.25	-	-	**3.2**
	4.1 発生源対策			**3.0**	0.50	-	-	
		1 化学汚染物質	―	3.0	1.00	-	-	
	4.2 換気			**3.6**	0.30	-	-	
		1 換気量	必要換気量×1.2≦設計風量	4.0	0.33	-	-	
		2 自然換気性能	事務所面積/30≦自然換気有効開口面積	4.0	0.33	-	-	
		3 取り入れ外気への配慮	―	3.0	0.33	-	-	
	4.3 運用管理			**3.0**	0.20	-	-	
		1 CO_2の監視	―	-	-	-	-	
		2 喫煙の制御	―	3.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				―	**0.30**	-	-	**3.1**
1 機能性				**2.9**	0.40	-	-	**2.9**
	1.1 機能性・使いやすさ			**2.3**	0.40	-	-	
		1 広さ・収納性	―	1.0	0.33	-	-	
		2 高度情報通信設備対応	―	3.0	0.33	-	-	
		3 バリアフリー計画	―	3.0	0.33	-	-	
	1.2 心理性・快適性			**3.3**	0.30	-	-	
		1 広さ感・景観	事務室天井高2.7m	4.0	0.33	-	-	
		2 リフレッシュスペース	執務ｽﾍﾟｰｽの1%以上のﾘﾌﾚｯｼｭｽﾍﾟｰｽ＋自動販売機等の設置	5.0	0.33	-	-	
		3 内装計画	―	1.0	0.33	-	-	
	1.3 維持管理			**3.5**	0.30	-	-	
		1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い床材等を採用し維持管理に配慮した設計	4.0	0.50	-	-	
		2 維持管理用機能の確保	―	3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				**3.2**	0.30	-	-	**3.2**
	2.1 耐震・免震・制震・制振			**3.0**	0.50	-	-	
		1 耐震性(建物のこわれにくさ)	―	3.0	0.80	-	-	
		2 免震・制震・制振性能	―	3.0	0.20	-	-	
	2.2 部品・部材の耐用年数			**3.8**	0.30	-	-	
		1 躯体材料の耐用年数	―	3.0	0.20	-	-	
		2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁にｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板を採用	5.0	0.20	-	-	
		3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	―	3.0	0.10	-	-	
		4 空調換気ダクトの更新必要間隔	―	3.0	0.10	-	-	
		5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水：SUS、汚水：VP、雑排水：VP	5.0	0.20	-	-	
		6 主要設備機器の更新必要間隔	―	3.0	0.20	-	-	
	2.4 信頼性			**3.0**	0.20	-	-	
		1 空調・換気設備	―	3.0	0.20	-	-	
		2 給排水・衛生設備	―	2.0	0.20	-	-	
		3 電気設備	―	3.0	0.20	-	-	
		4 機械・配管支持方法	耐震ｸﾗｽA	4.0	0.20	-	-	
		5 通信・情報設備	―	3.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			3.2	0.30	-	-	3.2
	3.1 空間のゆとり			3.8	0.30	-	-	
		1	階高のゆとり	ー	3.0	0.60	-	-	
		2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.044＜0.1	5.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり			ー	3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	
		1	空調配管の更新性	ー	3.0	0.20	-	-	
		2	給排水管の更新性	ー	3.0	0.20	-	-	
		3	電気配線の更新性	ー	3.0	0.10	-	-	
		4	通信配線の更新性	ー	3.0	0.10	-	-	
		5	設備機器の更新性	ー	3.0	0.20	-	-	
		6	バックアップスペースの確保	ー	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)				ー	0.39	-	-	2.4
1	生物環境の保全と創出			ー	2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮			ー	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			ー	2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			ー	2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性					-		-	3.9
LR1	エネルギー				ー	0.40	-	-	4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制			BPI＝0.78	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用(直接利用)			ー	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化			BEI＝-5.94	5.0	0.50	-	-	5.0
	集合住宅以外の評価				5.0	-	-	-	
	集合住宅の評価				-	-	-	-	
4	効率的運用に向けた取組み				3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	
		4.1	モニタリング	ー	3.0	0.40	-	-	
		4.2	運用管理体制	ー	3.0	0.40	-	-	
		4.3	非化石エネルギーの導入の拡大	ー	3.0	0.10	-	-	
		4.4	コミッショニングの推進	ー	3.0	0.10	-	-	
	集合住宅の評価				-	-	-	-	
		4.1	モニタリング	ー	-	-	-	-	
		4.2	運用管理体制	ー	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル				ー	0.30	-	-	3.4
1	水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水			省水型便器、節水ｺﾏ等を過半以上採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
		1	雨水利用システム導入の有無	ー	3.0	0.70	-	-	
		2	雑排水等利用システム導入の有無	ー	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減				3.4	0.60	-	-	3.4
	2.1 材料使用量の削減			ー	3.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			ー	3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			ー	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			ー	3.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			ー	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体と仕上げ材が容易に分別可能なLGS工法/再利用可能なﾕﾆｯﾄ部材のOAﾌﾛｱ採用	5.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			ー	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-	
		1	消火剤	ー	-	-	-	-	
		2	発泡剤(断熱材等)	外壁:ODP=0/GWP=3のﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ、屋根:ODP=0/GWP＝0のｸﾞﾗｽｳｰﾙ	5.0	0.50	-	-	
		3	冷媒	ー	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境				ー	0.30	-	-	3.9
1	地球温暖化への配慮			WLC排出量＝-178%	5.0	0.33	-	-	5.0
2	地域環境への配慮				3.6	0.33	-	-	3.6
	2.1 大気汚染防止			燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			ー	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.25	-	-	
		1	雨水排水負荷低減	ー	3.0	0.25	-	-	
		2	汚水処理負荷抑制	ー	3.0	0.25	-	-	
		3	交通負荷抑制	駐輪場、駐車場、管理用車両のｽﾍﾟｰｽを確保/複数出入口を計画し渋滞緩和に配慮	5.0	0.25	-	-	
		4	廃棄物処理負荷抑制	ー	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
		1	騒音	ー	3.0	1.00	-	-	
		2	振動	ー	-	-	-	-	
		3	悪臭	ー	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
		1	風害の抑制	ー	3.0	0.70	-	-	
		2	砂塵の抑制	ー	-	-	-		
		3	日照阻害の抑制	ー	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	ﾁｪｯｸﾘｽﾄの一部を満たす、広告物照明を行っていない	4.0	0.70	-	-	
		2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	ー	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2　サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	7.0		○	○	-	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-							
Q3　室外環境(敷地内)															
1　生物資源の保全と創出	4.0		-	-	1.0	-	1.0	-	1.0	-	1.0	-	-		
2　まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	-	-	-	1.0	-							
3.1　地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-					
3.2　敷地内温熱環境の向上	2.0		-	-	-	-	-	-	-	-	2.0				
LR1 エネルギー															
2　自然エネルギー利用(直接利用)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4.1.4 コミッショニングの推進	-		-	-	-	-	-								
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1　材料使用量の削減	1.0		-	1.0	-										
2.3　躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6　部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	-	○	-									
3.1　有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2　温熱環境悪化の改善	9.0		1.0	-	3.0	3.0	-	-	-	2.0	-	-			
2.3.3 交通負荷抑制	4.0		1.0	-	1.0	1.0	1.0	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	1.0	-		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0											

主な指標

Q1　室内環境

2.1.3 外皮性能
窓システムSC　0.6　窓の日射熱取得率(η)　-
U値(W/m2K)　窓システム 2.2　屋根 0.5　外壁 0.6　床 4.6
住戸部分　窓システムU値 -　外皮UA値 -　ηAC -　ηAH -

3.1.1 昼光率
昼光率　-

4.2.2 自然換気性能
自然換気有効開口面積率　3.39%

Q2　サービス性能

1.1.1 広さ・収納性
執務スペース　-　/人　病床　-　/床　シングル　-　ツイン　-

1.1.2 高度情報通信設備対応
コンセント容量　-　VA/㎡

1.2.1 広さ感・景観
天井高　2.7　m

1.2.2 リフレッシュスペース
リフレッシュスペース　13.0%　レストスペース -

2.2.1 躯体材料の耐用年数
想定耐用年数　-　年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔
想定必要間隔　30　年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔
想定必要間隔　-　年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔
想定必要間隔　-　年

3.1.1 階高のゆとり
階高　-　m

3.1.2 空間の形状・自由さ
壁長さ比率　0.0

3.2　荷重のゆとり
床荷重　-　N/m2

Q3　室外環境(敷地内)

1　生物資源の保全と創出
外構緑化指数　-　建物緑化指数　-

3.2　敷地内温熱環境の向上
空地率　-　水平投影面積率 -　地表面対策面積率 -　舗装面積率 -

LR1　エネルギー

1　建物外皮の熱負荷抑制
BPI/BPIm　0.78　断熱等性能等級　対象外　相当

2　自然エネルギー利用(直接利用)
影響範囲の割合 -　採光を満たす教室数 -　採光を満たす住戸数 -
通風を満たす教室数 -　通風を満たす住戸数 -

3　設備システムの高効率化
太陽光　2,356.9kW　太陽熱等　.0kW　蓄電池　.0kWh

非住宅部分
BEI/BEIm　再ｴﾈ有　-5.94　無　0.39　ｵﾌｻｲﾄ再ｴﾈ有　-5.94　-

集合住宅
一次エネ削減率　再ｴﾈ有　無　-

LR2　資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無
雨水利用率　-

2.4　躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
特定調達品目　-　エコマーク商品　-　自治体指定の特定品目等　-

2.5　持続可能な森林から産出された木材
使用比率　-

3.2.1 消火剤
オゾン層破壊係数(ODP)　地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)
オゾン層破壊係数(ODP)　0　地球温暖化係数(GWP)　0

3.2.3 冷媒
オゾン層破壊係数(ODP)　地球温暖化係数(GWP)

LR3　敷地外環境

2.2　温熱環境悪化の改善
見付面積比　-　隣棟間隔指標Rw -
地表面対策面積率　-　屋根面対策面積率 -　外壁面対策面積率 -
見付面積Sb　-　卓越風向と直交する最大敷地幅Ws -　m　基準高さHb -　m
緑地　-　水面　-　保水性対策面　-　高反射対策面　-　再帰性反射対策面　-